



写真1. 桜島昭和火口噴火(2009年4月9日)

2009年4月9日15時29分に昭和火口において発生した爆発的噴火。この爆発では噴煙は4000m上空まで達し、火砕流が東側に約1.1km流下した。昭和火口の南南東2.9kmにある有村展望台から横尾亮彦撮影。



写真2. 南岳の爆発(2009年10月3日)

昭和火口における爆発は多発したが、南岳の爆発は少なく2009年はわずか3回であった。10月3日16時45分に南岳において発生した爆発は最近の南岳の爆発として大きく、噴煙は3000m上空に達した。爆発発生78時間前から南岳火口方向の隆起と地盤の膨張が検出された。この爆発の後、昭和火口における爆発が頻発するようになった。鹿児島港よりSukir Maryanto撮影。



写真3. 昭和火口における典型的な爆発

2009年12月以降, 爆発回数は月に100回を超えるようになった. 噴煙の高度は1000~2000m程度で火山岩塊の多くは火口周辺に落下した. 爆発発生日時は2010年3月9日16時24分, 黒神観測室から園田忠臣撮影。



写真4. 昭和火口における夜間の爆発

2009年10月4日19時52分の爆発的噴火. 赤熱した火山岩塊が放物線を描いて山腹に落下し, 斜面を崩落する. 黒神観測室より横尾亮彦撮影。